けっして　あきらめない

きょねん　はじめて、　私は　このスピーチコンテストに　しゅつじょうしました。

ほかの　ひとのように　わかくないし、いぜんのように　じゅうぶん　べんきょうする

きかいもありませんでした。けれども　８さいと１０さいの　ふたりの　むすこのために

しゅつじょうを　きめました。ちちおやが　かつところを　みせて、せいこうする ほうほう

を　おしえるためでした。

いままで　どんな　たいかいでも　しゅつじょうして　まけたことがありませんでした。

きょねんまでは。

とても　よく　じゅんびしました。けれども　おきゃくさんの　まえで　すっかり

わすれてしまったのです。もちろん　なんの　しょうも　もらえませんでした。

じなん アムロは　いいました。「ドゥバイからアブダビまで　つれてこられて、

にほんごなんか　わからないのに ずっと すわって、ひるごはんも たべられなくて、

おとうさんが　まけるのを　みるだけなんて。」

とても　とても　かなしかったです。せきにんをとって　はらを　きった　にほんの

ぶしを　 おもいだしました。

そのとき　ちょうなん　イルヤドが　なきながら　私を　だいて　いいました。

「おとうさんは　せかいじゅうで　いちばんでしょ。じゃあ ぜったいに　あきらめないで。

ぼくが　らいねん　もういっかいおうえんに くるから。よろこんで　くるから。」

そして　私は　はらきり を やめました。

私は　むすこたちに　おしえるために　しゅつじょうしました。どうやって　かつかを。

けれども　はんたいに　むすこたちから　おそわりました。けっして　あきらめないことを。

のうりょくが　あっても いつも　かてるとは　かぎりません。のうりょくと　けんきょな

どりょく、ただしい　もくてき、せいじつな　きもちが　あわさって　はじめて、かならず

せいこうできるのだと　おもいます。

あいての　ねんれいに　かかわらず、まわりの　いけんを　よく　きいて、みんなを

あいし、そして　みんなから　あいされるように　どりょくする。　にんたいづよく、

むだな　 いさかいを　さけ、そして　いちどや　にどの　しっぱいなんか　きにしないで、

ぜったいに　あきらめない。どんな　 こんなんが　あろうとも　ぜったいに　あきらめない。

なぜなら　せいこうは　だれにでも、かならず　やってくるからです。

こきょう シリアで　みにくい　ないせんが　はじまって　８ねんになります。

シリアじんに　いつも　いっています。日本を　みならいましょう。せんそうや、じしんや、

つなみにも　まけない　日本を。けっして　あきらめないで。

きょうは　きいていただいて、ほんとうに　うれしいです。

ありがとうございます。